

議員の賛否を公開します

定例会総括

委員会レポート

一般質問

応援交子付育金

大学生レポート

委員会研修レポート

特集

広報コンクール

傍聴者の声

上程された議案・概要

	桐原 則雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚龍一郎	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本富二夫	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀眞	時松 智弘	田代 元気	大村裕一郎	賛成 (○)	反対 (●)
12月定例会	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
体育施設指定管理検討特別委員会の設置	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
町職員の定数に関する条例の一部を改正する条例	-	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2
学校教職員の充足を求める意見書の提出	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
1月臨時議会	体育施設指定管理者の指定	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行なうため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
 ■賀否表 ○は(賛成) ●は(反対) 番号(棄権) 欠番(欠席) 早退(早退)
 その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会 検索

議員の視点

(発言の一部を抜粋して掲載しています)

本会議動画配信

	問 指定管理者指定の懸念材料としてパートや派遣労働など非正規雇用が増えてくるのではないか。 不安定で劣悪な環境での労働が今まで指定管理者を導入している市町村で起こっているがどうか。	答 人材のマルチジョブ化によるサービス向上の取組をされようとしておられる。 継続的な運用、運営をしていただくためには働く人が大事になってくる。 指定管理が始またらチェックをしながら確認をしていきたい。
	問 職員の定員に関し、増やすということだが、23名の定員増で十分なのか。 福祉課など業務が複雑化しているところは、専門職を増やすとか考えられないか。	答 業務量調査をして23名定員増を提案している。 また専門性を有する職員等については、社会人枠も含めていろいろな形の採用ができるように検討していきた。
	問 保育補助者雇用強化事業補助金は資格のない無資格の人を雇い上げるということだと思うが、何人分、一人当たりはどのくらいの金額で計上されているのか。	答 保育士の業務負担軽減であるとか、保育士の人材確保にもつながる事業である。 申請が、当初の見込みよりも増えているため補正をお願いしている。 8団に対して18人の雇用を見込んでいる。
	問 新規の多言語通訳システムと、AI通訳機はどこで、どのような使い方をして、どのような効果を期待しているのか。	答 AI通訳機の使途は福祉的な相談あるいは住宅の相談などいろいろあると思う。 そういう場合は直接通訳の方が間に入って画面で直接相手とやりとりする仕組みもあるので、2段構えでの住民対話を試したい。
	問 護川小学校の屋根の改修のため、仮設校舎が必要とのことだが、公共施設管理個別計画では屋根改修の必要性は示されていない。仮設校舎の設計、改修工事の計画等の説明が不十分ではないか。	答 護川小学校の仮設校舎ということで債務負担行為を上げさせていただいた。 雨漏り等が発生はしていたが部分的な補修で対応していた。 非常に雨漏りの状況がひどくなり、来年度、仮設校舎を建設して工事を進めていく。
	問 処理センターで更新される予定の汚泥脱水機は、産廃として委託する汚泥の減量化に貢献するが、その他広大な施設を利用した再生可能エネルギーの活用などは検討しないか。	答 汚泥脱水機の導入により汚泥の含水率を下げ下水道汚泥の減量化、委託処理料の低減が可能になる。 電力の自給対策も下水道事業団からでは、今後検討が必要であると課題も出されている。

誰もが住みたくなるまちへ

大津町のこんなことが決まりました



12月定例会の議案等は

- 予算…………… 5件
- 条例…………… 5件
- 人事…………… 3件
- その他………… 2件

→ 4億7620万円を追加し
総額172億2770万円

pick up 1

新工業団地
基本計画策定など整備費

1,505万円

pick up 2

町職員定数 219人→242人(23人増)
令和3年から4年度にかけて業務量調査を実施

令和5年4月から
定数を242人へ

pick up 3

町施設管理者の指定
継続審査と特別委員会を設置し可決

詳細は15ページ

pick up 4

学校職員の配置の
充足を求める意見書

児童生徒の増加に加え、特別な支援を必要とする児童生徒も増えている。しかし、教職員の配置不足が続いているため本年も9人が不足(5月1日時点)している。教育環境の充実のために人員の充足配置を要望。

pick up 1

出産・子育て
応援給付金 4,500万円

詳細は
12ページ下段

pick up 2

物価高騰対策事業保育所等分補助金 192万円

